



森田 則子

② ① 来庁者用に、軟骨伝導イヤホンを配置
がん患者の外見ケア「医療用ウイッグ助成」

し、HPで周知していきた
い。また関係する会議、
イベント等での周知も工
夫する。



An illustration showing a woman with dark hair tied back, wearing a red top, smiling and pointing towards two older adults (a man and a woman) standing behind a white service counter. The man has grey hair and a beard, and the woman has short grey hair.

答 大阪府内でも半数程
度の自治体が実施してい
る。成果や課題を確認し、
令和7年度実施の是非に
ついては、予算編成時期
である年内をめどに判断
をしたいと考えている。

ことでも、よくは必要な支援を受けられると考えられる。窓口に掲示してはどうか。

耳の入り口付近にある軟骨を振動させて音を伝える仕組みで、窓口に配置し、使用することで聞こえづらさが緩和されるなど、効果があるものと認識している。

学業や仕事を継続してい
る人が増えている。放射
線治療などで外見が変化
した人に、医療用ウイツ
グや、乳房補整下着を助
成する自治体が近隣市町
でも増えている。本町も
助成制度を実施してはど
うか。

耳が聞こえにくいい
来厅者への配慮

問 軟骨伝導イヤホンの認識と、今後の配置につ

アピアランスケア
(外見ケア)

問質一般



4月から能勢町地域公共交通計画に基づき、拡充された施策の稼働状況について確認する。

問 遷行エリア外の住民から問い合わせがあるが、どう対応するか。

問 妙見口のせ号の稼働状況を問う。

数は6.7人であり、目標値の25人に對して達成率約27%であるが、交通空白地の解消とセーフティーネットとしての役割を果たしていると認識している。



A black and white line drawing of a school bus. The bus is filled with several children, all looking towards the right. It is driving on a road with a dashed line, passing by a row of stylized trees with many branches and leaves.

答　対応したか。
問　続行使を走らせた。
答　今後の対応は。
乗客が定員を超える可能性のある第3便、第6便では続行使を走らせている。今後は1年間様子を見て、中型車両の導入などの協議を事業者としていきたい。

地域公共交通計画の実施状況



中西 頤治

答 乗継利用の状況は、統計データでは約半数の利用が乗継ぎである。

成率約94%となつてお
り、定期券利用者の継続
的な利用が認められる。

答 が、どう対応するか。
直接役場窓口かホー
ムページを通じて問い合わせ
の手を、さまざま。

答 2か月間で乗車人数
は1030人、1日当たり平均
利用人数は24.5人であり、
月票値の6ヶ月分を支